

※仕分け結果については、市の最終判断となるものではありませんが、結論とともに、その結論に至る議論のプロセスを重視し、評価結果を検証したうえで、平成25年度予算編成の参考とします。



▼市民判定員コメント

必要な事業と思われるが、コスト削減にもっと知恵を出す必要がある／生活用品、食材の宅配サービスを民間の力を借りて導入してはいいかがか。

▼仕分け人コメント

効果的執行と受益者負担の適正化を図りながら、利用促進を図るべき／運行主体であるバス会社にコスト意識、インセンティブが働く仕組みを作るべき。

防犯対策事業

防犯灯の設置および維持管理を行い、暗く危険な場所を減らし、市民の安心安全な暮らしを守る。

▼市民判定員コメント

防犯灯を早くLED化し、経費の削減を考えるべき／防犯灯の設置は国県単位で行うべきものではない。市で住民のニーズに応じた場所に設置すべきである。

▼仕分け人コメント

防犯は特に地域住民の意識を盛り上げないと全体的な効果が少ない。自治区主体の実施に対する補助制度に変更すべき。この主旨を市の方針として市民に説明すべき。

消費生活センター運営事業

市民の消費生活における被害の発生、または拡大を防止するために必要な措置を講ずることにより、市民が安心して安全な消費生活を営むことができるようにする。

▼市民判定員コメント

相談窓口は、茨城県に一本化し、面接が必要な場合は市が対応した方がよいのではないかとPR不足であり、もっと活用できるように工夫が必要。

▼仕分け人コメント

消費者啓発、窓口業務は自前で、電話相談は広域で行うなどの工夫が必要／自治体の人口規模などにより、必ず設置するべき。啓発に力を入れるためにも、相談員の集中化を図るべき。

市単機械・施設整備事業

生産組織などが行う農機具等施設整備事業に対して、事業費の一部を補助し、農業の生産性の向上および経営規模の拡大と効率化を図る。

▼市民判定員コメント

効果実績が見えない。将来ビジョンも見えず、補助金があるから割り当てているように思える／若い人材の育成費用や新しい農作物の開発に充ててほしい。

▼仕分け人コメント

補助と効果の関係がはっきりしない。補助が無くても生産性の向上などのためには、事業者は投資すると考えられる。別の補助や支援を考える必要がある。

市道横断暗渠改修工事負担金

老朽化した道路横断排水暗渠（コルゲート管）をヒューム管に改修することにより、道路利用者への安全と道路破損が原因となる事故を未然に防ぐ。

▼市民判定員コメント

改修工事は急いで行ってもらいたい、設置された経緯と受益者を考えると市の負担割合を下げるべきではないかと／受益者負担の導入を考える必要がある。

▼仕分け人コメント

歴史的経緯は理解できるが、農家に対しても一般市民に対しても、しっかりと説明できる制度にしてほしい／国の負担が入る間に整理、整備していく必要がある。

問 伊奈庁舎企画課 858  
2111（内線1221）

事業名	市民判定員（12人）仕分け結果				仕分け人（5人）仕分け結果			
	不要・凍結	国・県・広域	市実施（要改善）	市実施（現行通り）	不要・凍結	国・県・広域	市実施（要改善）	市実施（現行通り）
①放課後児童対策事業	①1	①1	①8	①2	①0	①0	①5	①0
②放課後子ども教室推進事業	②0	②1	②9	②2	②0	②0	②5	②0
つくばみらい市幼稚園事業	0	0	10	2	3	0	2	0
敬老事業	7	0	4	1	5	0	0	0
地域公共交通運行事業	2	0	10	0	1	0	4	0
防犯対策事業	0	0	10	2	0	0	5	0
消費生活センター運営事業	0	5	4	3	2	2 ※1	1	0
市単機械・施設整備事業	5	2	4	1	5	0	0	0
市道横断暗渠改修工事負担金	0	2	8	2	1	0	4	0

※1：多数決が同数となったため、コーディネーターによる採決を行いました。